

あ

ああや あの様だ (いいちらかず参照) [用例] 人の事、
アアヤ こおや (此の様だ) 言うて 話して。いくら
アアヤ こおや (こうだ) 言うてもいいわけな (言っ
ても言訳が) たとかれ (立つものか)。

ああよした でかした。よくやった。有難う (うぐろ参
照) [用例] アアヨシタ。母さんに 札 言うといて
くれえ (ておいて下さい)。

あいだこいだ 隙間 所々 (とおよ参照) [用例] だい
こ (大根) の種 撒いたや (たら) よけ (沢山) 生え
て来て アイダコイダ 抜いたらな (てやらなけれ
ば) はざんわれ (駄目だ)。

あいたたたた 痛い (こむらがえり参照) [用例]
アイタッタタタ すじなつて (筋肉が痙攣し
て) 歩るかれやへん (歩るけない)。

あいたれ 1) 空になった (あいた) 2) 飽きた、嫌に
なった。[用例] 1) 席な (が) アイタレ。2) 芋飯ばつ
かで アイタレ。

あいて 1) 終わって (しろはえ参照) [用例] くろは
えな (が) アイテ しろはえん (に) になった。彼岸も
アイテ ぼちぼち (少しづつ) ぬく となって来るやろ
ど (暖かくなって来るだろう)。2) 飽きて 嫌になっ
て (あいてくる、あいてこん参照) [用例] 鮭も 三
日も 続けて 喰うと アイテ 来て 芋飯でも 炊
いてくれ (下さい)。3) 空になって (あいてくる参
照) [用例] 米櫃も、アイテ 来たよつて (から) 足
しとけよお (て置きなさい)。4) 隙間が出来て (あい
てくる参照) [用例] 障子もきっちり 閉めな (なけ
れば) アイテ来るやんか (でないか)。5) 暇になって
(あいてくる参照) [用例] 麦も刈って 体もアイテ
楽やれ (だ)。

あいてた 開いて行った (やごだい参照) [用例] 戸な
(が) 風で アイテタ

あいとおて 逢いたくて (あそびがてら参照) [用例]
あの子に アイトオテ しょなないね (仕方が無いの
です)。

あいとた あいて居た (めど参照) 1) 飽きて居た [用
例] 一緒にの事 ばっか (ばかり) して、あや (彼は)
アイトタねやんかい (のです)。2) 暇になった 時間
に余裕が有った。[用例] 体な (が) アイトタもんで
(ので) 遊びん (に) いとた (行つて居た)。3) 空に
なつて居た [用例] 飯櫃もアイトタ 4) 隙間が有

つた。開いて居た。[用例] 戸な (が) アイトタ。

あいなとこ あんな所 あの様な所 (いかんて参照)
[用例] アイナトコ 行かんて (行か無くても) じ
よつとやれ (上等だ。構わない)。

あいなの あんなのを (あざになる、あまかわ参照) [用
例] あの人な (が) 持とた (て居た) アイナノ な、
欲しなあ (が欲しいです)。

あいなもん 1) あのような者 (てんで参照) [用例]
アイナモン てんで (完全に) 相手ん (に) なるかれ
(ならない)。2) あのような物 (てんで参照) [用例]
アイナモン くれても 喰わよかれ (食べられない。
食べられるものか)。

あいばんこ 歩きなさい (あいべ参照) [用例] 早よ
(早く) アイバンコ 電車に 遅れられ (遅れるぞ)。

あえこにおおた 茶化された。颯りものにされた (あえ
こにする参照) [用例] あいら (彼等) 口なえろおて
(よく喋って) おら (俺は) アエコニオオタ。

あおいお、そおばなし [俚諺] 青魚相場無し 漁獲によ
つて、価が乱上下する事 (あがつた参照)

あおくそ 未熟の状態 (あつかねえ参照) [用例] 此の
柿 まだ アオクソで渋いわい (です)。

あおたんふだ 花札 (あおたん参照)

あおで 青くなって (なんしろにし参照) [用例] なん
しろ (苗代) も、アオデ 西 (西風) に なびいとら
れ (て居る)。

あおぬいてた 仰むいて行つた (ひつくりかえす参照)
[用例] 風に あおられて (あふられて) アオヌイテ
タ。

あおべんのぬんたらたん 大馬鹿者 (あおべん参照)

あかして うちあけて、白状して (しりこぼし参照) [用
例] 隠し事 アカシテ こらえてもおた (許して貰つ
た)。

あかしやびなわいて 錆がついて (あかしやび参照) [用
例] ほつちよん (包丁に) アカシヤビナワイテ はざ
んよお (駄目だ)。

あかな あかなければ 終わらなければ (ひがんなあく
参照) [用例] 彼岸な (が) アカナ盃 (結婚式) しや
せんね (しないのだ)。

あがみや 貴方は (あが参照) [用例] アガミヤ 何ん
も知らんねなあ。

あがめとる 尊敬して居る (あがめる参照) [用例] 先

生を、アガメトル

あがらしてもおて 上がらせて貰って 家などに入れて
貰って (あげてえ参照) [用例] 宮城い (に) アガラ
シテモオテ 天皇陛下に逢うて来た。

あからだ 赤くなった。熟した (あからぶ参照) [用例]
柿な (が) アカラダ。

あからまん 熟さない (すみだあら参照) [用例] 柿も
まだ アカラマン

あからみほおけてきた 熟し過ぎた (あかろむ参照) [用
例] 麦も ちょんな首 (穂が垂れて) になって ア
カラミホオケテキタ。

あがらん 1) 上がらない (あたまあげる参照) [用例]
あの人には 頭が アガラん 2) 獲れない [用例]
時化で 魚な (が) アガラん 3) 揚がらない [用
例] 風な (が) のおて (無くて) 風な (が) アガラん

あからんだ 赤くなった 熟した (ずくし参照) [用例]
蜜柑も アカランダよって (から) 獲って 来いえ
(来なさい)。

あかりともす 燈火をつける

あかるない 明るく無い 暗い (くすむ参照) [用例]
よさりの (夜の) 田舎道は アカルナイ。

あかろだ 赤くなった。熟した。[用例] 柿な、アカロ
ダ。

あかろんで 熟して (きんときまめ、ちょんなくび、む
ぎあき参照) [用例] 蜜柑も アカロンデ 旨そおん
しとる (そうにして居る)。

あがんね 1) 揚げります (はりこ参照) [用例] ゴン
バリコ (ゴム球) は よお (よく) アガンネ 2) 上
がります [用例] 階段も よお (よく) アガンネ
3) 獲れるのです [用例] 波なして (が荒れて) 海
老も よお (よく) アガンネ

あきば 秋葉 枯葉 (はあ参照) 茶褐色に枯れた葉

あきやれんねわい 飽きられるのです (みっかにあけず
参照) [用例] 用事も無いのに いて (行つて) 終い
には、アキヤレンネワイ。

あくね あく (空、開) のです (うんだとも、つぶれた
とも参照) [用例] とおな (戸が) アクネ。

あげた 1) 上手になった (あげる参照) [用例] 腕
アゲタ 2) 嘔吐した 3) 魚を水揚げした 4) 揚
げた 油を使用した料理など

あげだしたよおなにげ 真正直で隠すことのない人間
(あげだし参照)

あげだしておこした 多量にくれた (あげだし参照) [用
例] ちょいとくれ言うたや (少し下さいと言ったら)

アケダシテオコシタ

あげだしてくる 雨が一時的に大量に降る (しゃじける
参照) [用例] 雨な (が) アケダシテクル

あげたて 終わりにして、使わないで (あげたれ参照)
[用例] うちやれたよって (壊れたから) そればな
(を) アゲタテ 新しの (のを) 使わんかれ (使いな
さい)。

あげたらんかい。あげたらんかな。あげたらんかれ

1) 供えなさい、供えを下げなさい (あげてこい参
照) [用例] お供えも 何時迄も 供えとかんと (て
置かず) アゲタランカレ 2) 終わりにしなさい
[用例] 破れた きもん (着物) 着とらんと (着て居
ずに) アゲタランカイ 3) 入れてやりなさい [用
例] あの子も家へアゲタランカレ 4) 嘔吐しなさい
[用例] 胸苦しきや (けれど) アゲタランカナ。

あげたる 1) 上げてやる (うしろに参照) 2) 使用し
なくなる [用例] 1) 二階へアゲタル。

あけて 空にして 留守にして (あけとく参照) [用例]
家 アケテ 何処 いとたんど (行つて居たのだ)。

あげて 魚を水揚げして (あがつた参照) [用例] 市場
へ魚よつけ (沢山) アゲテ 大漁や (だ)。 2) 嘔吐
して [用例] アゲテ くだして (下痢して) 大弱り
やよう (だ)。 3) 揚げて [用例] 皆な (が) 浜で風
アゲテ めんしよなかつた (見事だった)。 4) 上手に
なつて [用例] 腕 アゲテ

あげてきや 上げて行けば (あじろ参照) [用例] 錨
アゲテキヤ 後へ 誰でも行くわい (行きます)。

あけとかれやせん。あけとかれやへん あけて (空、
開) 置けない (すべる参照) (ふりつける参照) [用例]
雨な (が) 降りつけて アケトカレヤヘン (アケトカ
レヤセン)。

あげなこと あの様な事 (あんげん・いいごと参照) [用
例] アゲナコト ばっか言うとる (ばかり言つて居
る)。

あげなとこ あの様な所、あんな所 (あしこなと参照)
[用例] アゲナトコ たっこおて (高くて) よお登ら
んわい (登れませんです)。

あげなね あんなのだ、あの様なのだ (こしらえやまい、
しんけだま、つね参照) [用例] つねから (いつも)
アゲナネよって (だから) 人ん (に) 嫌われられ (嫌
われます)。

あげなひと あんな人 (あらみみ参照)

あげよおった 1) 供えました、供えて居ました (とき
まい、はつほまい参照) [用例] 初物は一番に佛さん

へ アゲヨオッタわい。2) 揚げました 揚げて居ました (よそばり参照) [用例] 大敷の網は大勢でアゲヨオッタ。天麩羅 アゲヨオッタ。3) 嘔吐して居た [用例] つわりん (に) になると よお (よく) アゲヨオッタ。

あげよか 1) あげましょうか、あげようか (やろか参照) [用例] 重たい荷物 はんぶ (半分) 持って アゲヨカ。2) 揚げましょうか [用例] 天麩羅 アゲヨカ。

あけんきおった 捨てに行きました (あらいもんし参照) [用例] バケツの水もアケンキオッタわい。

あげんね 1) あげるのです 供えるのです (ねぐるい、はつぱ参照) [用例] 神さんへ アゲンネ。2) 揚げるのです [用例] 錨 アゲンネ。3) 嘔吐するのです [用例] わりもん (悪い物) 喰うたんかして (たのか) アゲンネよお。

あしあおぐ 足をばたつかせる (さんしょびらし参照) 多くは水中で泳ぐ時に用いる

あしうった 通った (はっち参照) [用例] 風邪ひいて 医者屋へ アシウッタ。

あしなばおんなった 足が棒になった、疲れた (あるきづめ参照) [用例] 伊勢まで歩いて アシナボオンナッタ。

あしはこばしたなあ。あしはこばしたのお 尋ねて来た人に対する挨拶。よく来てくれました [用例] 留守しとて (して居て) いくくらも (幾度も) アシハコバシタノオ。

あしやめ 足の病気。足の病気をして居る人 (はあなやめる参照)

あすか あの所は (かわじり参照) [用例] 伊勢かい (ですか) アスカ歩いてくと (て行くと) 遠いわい (です)。

あすこあ あの所は (かわじり参照) [用例] 燈台の有る アスコア 波切やんかい (だよ)。

あせいよや 休憩しましょう。[用例] ひと息 アセイヨヤ。

あせぎづかい 稼いだけ全部使うこと。貯えをしないこと。[用例] あや (彼は) 後先考へんと アセギヅカイで はざん (駄目だ)。

あそでいえ。あそんでいえ 遊んで下さい、仲間に入れて下さい (あそんでえ参照) [用例] 私も アソデイエ

あそできや 遊んで行けば (まあいくんかい参照) [用例] まだ、日な (が) 長いのん (のに) アソデキヤ

ええない (よろしい)。

あそばかしてくれ。あそばかしてくれえ。あそばかしてくれまあ 1) 遊ばせて下さい。仲間に入れて下さい、仲間に入れてやりなさい。(あそばかす参照) 2) 子守をしなさい。[用例] この子も ひとばか (少しばかり) アソバカシテクレマア。

あそばして 1) 遊ばせて (あそばかす参照) [用例] 此处でアソバシテ 貰らおや (いましょう)。2) 子守をして [用例] 此の子 アソバシテ わし (私) も、あそんどんね (遊んで居るのです)。

あそばな 遊ばなければ (ゆうほのじかん参照) [用例] アソバナ損や (だ)。

あそびんのつとる 夢中になって遊んで居る (ばんてん参照) [用例] 日曜で アソビノツトルもん (から) 昼もこおかれ (来ません)。

あそべや 遊べば (まあいくんかい参照) [用例] そげん はよ行かんてて (そんなに早く行かなくても) まだ、アソベヤええやれ (よろしい)。

あそんだて 1) 遊んでしまつて (あそんだた参照) 2) 仲間に入れて遊んでやつて [用例] ₁₎ 今日は仕事もせんと 一日 アソングデ 父やんに 怒られた。

あそんどられ 遊んで居る (なんたらかんたら参照) [用例] あいな (あんな) 危ない事して アソンドラレ。

あたたない 熱くない (なべつかみ参照) [用例] 汁な (が) アタタナイもんで (ので) 旨まない。

あたたまんね 温まります、温まるのです (わらび参照) [用例] 風呂でアタタマンネ。

あたまいきて 腹が立って (あたまいがる参照) [用例] あんな言う事な (彼の言う事が) アタマイキテ 喧嘩して来たね (のだ)。

あたまおしつけた。あたまおしつける 頭を押さえる、相手を降伏させる (いゝまげる参照) [用例] あんな (彼が) もの言うて (言つて) 来ると アタマオサエルよおん (ように) 言うので、嫌やてや (です)。

あたまないかれとて 頭がおかしくて (いかれとられ参照) [用例] あや (彼は) アタマナイカレトテ なん (何) 言うても (言つても) はざん (駄目だ)。

あたんど 当るぞ (ばち、わりいすと参照) [用例] わり (悪い) 事すると 罰な (が) アタンド。

あたんど 食中毒をするぞ (あらめかり参照) [用例] 河豚 喰うと アタンド。

あたんね 当るのだ、配当が有る (ぺっぺはね参照) [用例] 俺家もよつけ (沢山) アタンネ。

あつうて 1) 熱くて (あつうい参照) [用例] 此の

汁 アツウテ 飲まれやせん (ない)。 2) 暑くて (ころくがつ参照) [用例] アツウテ きもん (着物) 一枚のんだ (脱いだ)。 3) 厚くて

あっこおて 赤くて (みため参照) [用例] リンゴもアッコオテ 旨そおん (そうに) しとる (して居る)。

あつこた 扱った (ぬりもん参照) [用例] 魚 アツコタ こた (事は) ねえね (無いのだ)。

あつさがやわらいで 暑さが少なくなって 涼しくなつて (しのぎ参照)

あっそおて 浅くて (とおあさ、あっさい参照) [用例] 皿な (が) アッソオテ もられやせん (よそえない)。

あつたや 有ったら (うさる参照) [用例] よつけ (沢山) アツタヤ。皆 盗まれたた。

あつつて 1) 熱くて (うだる参照) 2) 暑くて 3) 厚くて

あつなつて 1) 暑くなって (もろはら参照) [用例] 走ったや (ら) アツナッテ来た。 2) 熱くなって 3) 厚くなって

あつぽつとおて 厚くて (あつぽたい参照) [用例] 此の生地、アツポットオテ 重たいわれ (です)。

あてごて 与えて (しよかのオて参照) [用例] 字 よお読まん者 (読めない者) に本アテゴテモ 猫に小判やれ (だ)。

あてこんどんね 期待して居るのだ (あてこむ参照) [用例] のおな (お前が) してくれる おもて (思つて) アテコンドンネ。

あてよおった 当てて居た (むつき参照) [用例] 傷へガーゼ、アテヨオッタ 2) 割当てた [用例] あや (彼は) なんもよおせんよつて (何も出来ないのだ) 留守番 アテヨオッタ。

あてんもくそんもなろかれ 全く、期待出来ない (からでつぽ参照) [用例] あんな (彼の) 言うこと (事は) アテンモクソンモノナロカレ。

あとまね 人の後を真似る事 (にばんどり参照) [用例] アトマネ ばっかしとて (ばかりして居て) 人ん言われんど (に、言われるぞ)。

あとみてもらう 死後の菩提を弔って貰う

あとみてもらうもん 家督を相続し、菩提を弔ってくれる者

あばえんば よく甘える子供 (あまえた参照)

あばばおて 眩しくて (ほそめ、ましお参照) [用例] アババオテ なんも見えやせん (何も見えません)。

あびせられた 1) あぶせられた (あびせる参照) [用例] 水 アビセラレタ 2) 被せられた

あぶせやい 浴ぶせ合い、互いに水などをかけ合う事 (いきはたかす参照)

あぶつてくれ。あぶつてくれえ 焼いて下さい (あがる参照) [用例] 餅 アブツテクレ

あぶらあせ 多量の汗 (あぶらけ参照) [用例] アブラアセ出して 仕事した。

あぶりだされた 仲間外れにされた [用例] おら (俺は) アブリダサレタ

あぶりだされる 仲間外れにされる、追い出される (あぶれる参照)

あほよ 馬鹿め (あっぱ参照)

あほらして 馬鹿々々しくて (あき参照) [用例] あんな (彼の) 話 アオラシテ 聞いて おられん。

あまあい 非常に甘い (あおした参照)

あまあまゆうと 甘言を言うと (ちよおんのる参照) [用例] アマアマユウト つけあがつてはざん (駄目だ)。

あまいおりる 海女作業を始める (かいやま参照) [用例] 三月になると アマイオリルよつて (から) 忙しわい (です)。

あまがいら 雨蛙 (あまがいの参照)

あまがいの 多量に水を飲む人 (あまがいの参照)

あました 嘔吐した、吐いた (あます参照) [用例] 乳 よけ (沢山) 飲んで アマシタ

あまたれて 1) 甘えて (あまえた、ちのあまり参照) [用例] 何時迄も 親に アマタレテ しとらんと (して居ずに)。 2) 甘過ぎて [用例] ぜんざいな (が) アマタレテ 喰われやせん (食べられない)。

あまんこ 女の子 (あま参照)

あみくいがに 蟹の一種 (あみくい参照)

あみのくち 伊勢海老漁の解禁と禁止 (はさ参照) [用例] 九月に アミノクチな (が) あいて (解禁になった) 五月に とまんねやれ (禁止になるのだ)

あみやる 網を掛ける。網を海中に張る。 [用例] 神の島の沖い、アミヤルと 大漁やれ (だ)。

あめあがられ 雨も止む (あかるなる参照) [用例] じっきん (間もなく) アメアガラレ。

あめてきた 腐って来た (ねがる参照) [用例] 五目飯 蒸さらして (蒸さして) アメテキタ。

あめてた 腐っていった (あめる参照) [用例] 飯な (が) アメテタ。

あめなぶらさがってきた 雨が降りそうだ (ぶらさがる参照) [用例] 西な (が) 曇つて アメナブラサガッテキタ。

あもおて 甘くて (あまい参照) [用例] 団子な (が)

アモオテ。
あやうんどる 危ぶんで居る。疑って居る（ええやかな参照）[用例] よおするやかな、おもて（よく出来るだろうかと思って）アヤウンドル。
あやかされて からかわれて（ちよいちよいにおおた参照）[用例] 阿保に アヤカサレテ 頭に来て（頭に来て、腹が立って）。
あやしど 怪しいぞ、変だぞ（あやしげ参照）[用例] あの二人 アヤシド。
あやせん 無い（いそおけ、みそばこ参照）[用例] ぜんな（銭が）アヤセンもんで（ので）買われやせん（買えない）。
あよいでこい 歩いて来い（あいぶ参照）[用例] 此处迄 早よ アヨイデコイ。
あよおって 有って（いせまいり、いちばんごえ、かんでき、ごろすけ、のろい参照）[用例] 昔、アヨオツテしたけど（が）今しゃ（今は）あやせんわい（有りませんです）。
あらあらしとる 隙間が広い、非常に荒れて居る（あれ参照）[用例] 葬式も、送り人（回葬者）が すけないと（少ないと）席なアラアラシトル みとみないなあ（見苦しいです）。
あらいおった 洗って居た、洗って居ました（あらいこ参照）[用例] 朝、顔 アライオッタ。
あらかった 片付いた、広くなった（あらける参照）[用例] 部屋も掃除して、立派に アラカッタ
あらくさうって 大晦日、節分に豆撒きをして（おおつごもり参照）[用例] はよ（早く）アラクサウツテ 祝おや（祝いましょう）。
あらくさなまめ 大晦日、節分に撒く豆（はやす参照）
あらくたいもん 大きな物、粗い物（あらごなし参照）
あらくれおとこ 乱暴者（あらくれ参照）
あらけおおび 岩礁の上に居る鮑（ごんぞとり参照）
あらけたる 広げてやる、片付ける（まびく参照）[用例] 部屋も、散らかつとんのん（て居るのに）アラケタルト ええんやれ（よいのだ）。
あらけな 片付けなければ、広くしなければ（あいまこいま参照）[用例] 部屋も アラケナ はざん（駄目だ）。
あらけもん 片付け、片付け物（うちをあらける参照）[用例] 家の中も アラケモンせな（しななけれは）。
あらしお 新塩（きよめる参照）
あらたに 新しく（あみすく参照）[用例] 本も アラタニ 書いて。

あらぶかん 荒く吹かない、風がおだやかだ（うわて参照）[用例] 風も アラブカンと 今日は上日（よい天気）だ。
あらべて 乱暴して（えがはう参照）[用例] 酒 飲んで アラベテ 手が付けられやへん（無い）。
あらめのごんぼ 荒布の茎（どけ参照）
ありあいもん 有り合せもの（ありあい参照）[用例] アリアイモンで 間に合しとけ
ありあわせもん 有り合わせ物（ありあい参照）
ありがとこんちくしょお 有り難う（ありがと参照）
ありだけのもん 有るだけの物。有る物すべて（ありだけ参照）
ありついた 1）根付いた（いちばんぐさ参照）[用例] 芋苗植えたら、うるおいなして（雨が降って）立派ん（に）アリツイタ。2）手に入れた、自らのものにした [用例] よおよと（やっど）飯に アリツイタ。
ありどり 有る物の中からよい物を選び取る事（えりどり参照）[用例] 早よ行かな（早く行かなければ）アリドリやよって（だから）後あ（は）滓やれ（だ）。
ありのせんびきづれ 蟻が長く連なって、行列を作って居る状態（どんどこどん参照）
ありよおった 有った。有りました。（あしのぼす参照）[用例] 昔は 刀も アリヨオッタ。
ありよった 有った。有りました（こなんど参照）[用例] 昔 アリヨッタけど（が）今しゃ（今は）無い。入れてアリヨッタ。
あるかれやへん 歩けない、歩けません（あしなおぼたい参照）[用例] 腰な（が）痛おて（痛くて）アルカレヤヘン。
あるかん 歩かない、歩けない [用例] 足な（が）痛おて（痛くて）よお アルカン。
あるきどおし 休みなく歩き続ける（あるきづめ参照）[用例] 伊勢迄 アルキドオンで くたばった（疲れた）。
あるし 有る、有ります（…い、参照）[用例] あいなもん（あんな物）おらも（俺も）よつけ（沢山）アルシ。
あるてや 有ります（すまなんだ、ひやかい、まんりき参照）[用例] 家ん（に）置いて アルテヤ
あるない 有ります（とりつく参照）[用例] あしこい、いきや（あすこへ行けば）よつけ（沢山）アルナイ。
あるやがな 有るでしょう（せ参照）[用例] あんたげも（貴方も家も）そいなもん（そんな物）アルヤガナ。

あるやしらん 有るかも知れない (めとぼ参照) [用例]
家、行くと アルヤシラン、探して 見るわい (見ますよ)。

あるんなあ 1) あります (あんど参照) 2) 有るので
すね [用例] 1) 私家に アルンナア。

あろおて 荒くて (あつかい、あらい、いきづかい、かねづかい、きしょお、みずづかい、やぼくた参照) [用例]
金使いな (が) アロオテ 貯えな (が) なんも
(少しも) 無い。

あろかな ありません (かいまき参照) [用例] そいな
(そんな) 大金な (が) アロカナ。

あろたんのを 洗ってやるのを (あらい参照) [用例]
アロタンノヲ 別にしとけ。

あろといて 洗っておいて (あらいよね参照) [用例]
足 アロトイテ 家へ入れ。

あわくらしいのはてなし 際限の無い慌て者 (あわくらしい参照)

あわしや 合せば、逢せば (あかごのてえくじく参照)
[用例] 二つ アワシヤ ええない (よろしい)。

あわせん あいません、及びません、出来ません、一致しない、似合わない (あう、こてんあわん、なつとしても参照) [用例] 計算な (が) アワセン。あのきも
ん (着物) 俺ん (に) アワセン。

あわそ 合わそう (あんばい参照) [用例] 皆の考へに
アワソ。

あわだった 逢わなかった、合わなかった (あんばい参照) [用例] あの人ん (に) アワダッタ。計算な
(が) アワダッタ。

あわぶいた 疲れた (あふる参照) [用例] 仕事な え
ろおて (が大変で) アワブイタ。

アンカ デッツゴオ 錨をおろせ (あんかあ参照)

あんこ あの子 (こんこ参照) [用例] アンコな (が)
おっちやくでしよない (横着で仕方が無い)。

あんごしもん 馬鹿な者 (はてない参照)

あんたとか 貴方の家は (ふこお参照) [用例] アンタ
トカ 爺やんも元氣かい (ですか)。

あんねえ あのね 呼び掛けの言葉 (あんのお参照)

あんねどい 有るのですか。有るのか (うそかいだり参照) [用例] どこん アンネドイ。

あんねもん 有るのだから [用例] 前から 教えて
(教えて) アンネモン、あいな (あんな) 事すられ
(するんだ)。

あんねやらないねやら 有るのか、無いのか (かねづかい参照) [用例] アンネヤラ、ナイネヤラ 知らんけ

ど (が) あの人、金使いな (が) あろおて (荒くて)。

あんねやろなあ 有るのでしょうか (あんこばら参照) [用例]
あの家 古い家やよって (だから) 珍しもんも
アンネヤロナア。

あんねやんかな 有るのです (あんろく、あらどおし参照) [用例] 銭も よつけ (沢山) アンネヤンカナ。

あんもおて 1) 甘くて (からすのせ、さとのき参照)
[用例] ぜんざいなアンモオテ 2) 少なくて (おてり参照) [用例] おてりな (日照が) アンモオテ 乾
かせん (ない)。